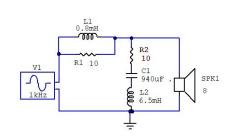
AAFC 例会資料 2025/3/23 石田 隆

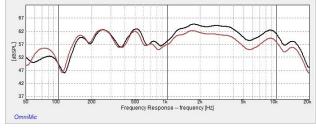
小型スピーカ3類

最近調整中の小型スピーカをご紹介します。

1. 8 c mフルレンジスピーカ TangBand W3-1878

台湾のスピーカメーカとして有名なTBのユニットでもかなり凝った作りの方で、低域もかなり伸びワイドレンジです。3Lほどのバスレフボックスで鳴らしています。低域インピーダンス補正とバッフル面積が小さいので中高域の特性補正(赤線)を入れられるようになっています。

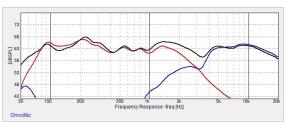


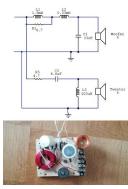


2. 1 2 c m 2 W a y スピーカ Woofer DaytonAudio CF120-4 Tweeter Tymphany(Vifa) XT25SC90-04

もう一つはネットワークによる 2Way スピーカです。ユニットはローコストながらしっかりした作りなのでバランスが良い鳴りっぷりです。こちらも低域インピーダンス補正を入れて鳴らします。エンクロージャ(バッフルを除く)は7Lの市販品です。ウーファはタイムアライメント調整の為に出っ張っています。



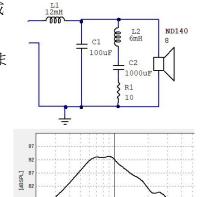




3. 14 c m サブウーファ

DaytonAudio ND-140-8

小型スピーカは広い会場では特に低域 が苦しいのでアドオンできるサブウー ファを用意しました。ネットワークで 130Hz 以上をカットしているのでそのま まパラって使えます。 エンクロージャは 12L のバスレフで、 ポートは下面についてます。



200 Frequency Respon